

【事業背景・目的】

中山間地域が抱える地域課題（社会課題）は人口減少等により、より深く・広くなってきている一方で、その課題を解決するための人材は将来にわたり不足が予想されている（第五期中山間計画より）。

一方で、世界的な気候変動の顕在化、社会の成熟に伴い、若い世代において社会貢献に対する価値観の高まりが見られる。

教育では、社会構造の変化を踏まえ、総合的な力（いきる力）の醸成が求められており、コミュニケーション能力などの非認知的能力の育成に向け、地域課題を活用した学びを実践する傾向がある。

島根県では地域を愛し、地域の実情を理解し地域課題を解決しようとする若い世代の人材がひとつづくりプロジェクト等を通じて育成されてきており、多くの学生が大学等高等教育機関に入学後も自分の愛した地域に引き続き関わり続けようとしている。

上記の背景を踏まえ、大学等の学生（以下「学生」という。）が引き続き地域課題に関わり続ける仕組みを確立し、地域の活性化、ひいては地域で不足する人材の確保を目指し、学生と石見地域の活動団体等が効果的に関わる機会を創出する。また両者をコーディネート及び学生のインターンシップを受け入れる中間支援組織を育成し、持続可能な地域づくりに繋げる。

【期待する事業効果】

- (1) 学生が共に地域課題に向かうことでの地域の活性化、地域で不足する人材の短期的・長期的な確保（地域愛の醸成、関係人口化）
- (2) 学生が地域課題に実践的に取り組むことで獲られる総合的な能力の醸成と経験の蓄積、高等教育機関の知恵の蓄積
- (3) 大学と地域が円滑に関わるためのコーディネート業務を通じた中間支援組織の経験蓄積と地域課題をコンテンツとしたソーシャルビジネスモデルの確立による持続可能な仕組みの構築
- (4) 大学等の教員、学生、島根県（県立高校を含む）、石見地域関係市町、中間支援組織が連携して、効果的な地域活動支援を行うためのネットワークの構築